

タイ情報サイト開設

北大への
留学生 「懸け橋になりたい」

札幌在住のタイ人で北
大学院生のサムット・
トウンサリーカセートさ
ん(29)がこのほど、日本

語とタイ語で北海道とタイの情報を紹介するホームページ(H.P.)を開設した。「大好きな北海道とタイの懸け橋になりたい」との思いを込めた。

トウンサリーカセートさんは一九九九年、タイの大学を卒業後、日本の国費留学生として来日。

日本の地方自治の仕組みを将来タイの地方都市に生かそうと北大で政治を学んでいる。

最初は「雪国に留学したい」という軽い気持ちだったが、次第に「緑も豊かで、広い土地にはいろんな可能性がある」と北海道が好きになり、二年前には札幌の女性と結婚。「もう北海道は第二の故郷。タイとの交流を進めたい」とH.P.を作製

した。H.P.では、道内で行われたタイ関連のイベントの様子などのほか、道内のタイ料理店、タイマッサージ店などの情報も紹介している。また、タイ語の札幌地下鉄路線図など、来道するタイ人向けの情報も盛り込んだ。

トウンサリーカセートさんは「これから道内の地方に出かけて、各地の観光情報などもタイに向

けて紹介したい。H.P.を通じて、多くの人と知り合いたい」と話している。H.P.は<http://www.sapporothai.com/>



「将来タイに帰っても、北海道と協力し合いたい」と話すトウンサリーカセートさん